



# 国際教育



## 国際教育とは？

「国際社会において、地球的視野に立つて、主体的に行動するために必要と考えられる態度・能力の基礎を育成する」ための教育

## 国際社会で求められる態度・能力とは？

国際化が一層進展している社会においては、国際関係や異文化を単に理解するだけでなく、自らが国際社会の一員としてどのように生きていくかという主体性を一層強く意識することが必要

初等中等教育段階においては、

すべての子どもたちが、

- 1 異文化や異なる文化をもつ人々を受容し、**共生することのできる態度・能力**
- 2 自らの国の伝統・文化に根差した**自己の確立**
- 3 自らの考えや意見を**自ら発信し、具体的に行動**することのできる態度・能力

を身に付けることができるようにすべき



国際教育のねらいは、他者を受容し共生しながら、発信し行動できる力を育成していくことなのですね。

How?

学校の教育活動全体の中で取り組む

→**教科横断的に**

- ・教科等の学習と総合的な学習の時間とを関連させ、授業に広がりと深まりをもたらす

→**授業以外の場でも**

- ・朝学活や終学活の時間を活用する
- ・校内の掲示板等を利用し、日頃から意識をもてるようにする

地球の問題に気付き、世界の問題とのつながりを考える

How?

→**子どもたちが様々な立場の人の気持ちを実感をもって感じられるように、他の人の立場を疑似体験するような、「自分ごと」になる体験活動を入れる**

- ・**異文化理解、異文化交流**にとどまるのではなく、そこでの気付きや思いを基に、問題解決に向けて話し合い、行動に移す意識を育むことが大切

国際教育資源の活用を！

- ・**滋賀県国際協会**では、**国際教育・開発教育**に関する資料や教材の貸し出しのほか、**多文化共生**の意識を育むためのオリジナル教材の提供や講師派遣を行っています。  
教材例) ブラジルボックス、非識字体験ゲーム、わたしん家の食事から
- ・滋賀県国際課でも、**国際交流員**による出前講座を行っています。

